※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「鑑賞」を主に学習します。
・自分を表現できる演奏手段を特に学ぶとともに、プロの演奏家の演奏を鑑賞することで表現方法を学ぶ。
・音楽の学習は繰り返し練習することで身につきます。集中して取り組み、自信を持って演奏することで達成感が得られます。こうした経験が音楽を愛する心、生きる力になることを願っています。
・学習の到達点は、授業で配布、回収するワークシート、実技テストで判断します。
・実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会形式で行います。
・アートスタジアムなどの演奏発表の機会を設け、音楽を人に伝える喜びを体験することで、音楽をツールとするコミュニケーション力を育む。

2　学習の到達目標

音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における多様性を理解し、音楽の形式を尊重して演奏する能力を養うとともに、基本を踏まえつつ自分の表現能力をさらに向上させる。音楽性豊かな表現をするために基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組めるようにする。
a:曲想と音楽の要素や歌詞などの関わりを学び、鑑賞や模範演奏を通して様々な表現方法を観察しながら自分なりの演奏の仕方を考える。
b:知識・技能を元に自分なりに演奏でき、その表現が相手に訴えかけるものとなることを目標とする。
c:授業を真面目に取り組み、積極的に演奏しようとする態度を養うとともに仲間との教え合い等を通してともに音楽をする楽しさ、障害に渡って音楽を愛好する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・演奏に置ける客観性と多様性について理解をさらに深めるとともに、理解したことを活かした演奏をするために必要な技術を身につける。 ・曲想と音楽の要素や歌詞の関係を踏まえ、鑑賞で様々な解釈があることを知る。 ・時代や地域による特徴を鑑賞や演奏を通じて身につける。	・曲想と音楽の要素や歌詞との関係の学習を通して自分がどのように演奏したいか考え、演奏できている。 ・表現したい音楽のイメージを膨らませながら、思いや意図をもって演奏する。その演奏が相手に伝わるような演奏となっている。	・音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする。 ・様々な音楽作品を受け入れて、積極的にかかわる。 ・主体的、協同的に理論の学習に取り組むとともに、学んだことを活かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		**歌唱** 「春よ、来い」「時代」「アイノカタチ」他	a: 自然なのびのある声で歌うことができ、歌曲にふさわしい日本語の発音を意識的に取り入れている。 b: 声の特性や日本語の表現をよく感じ取って表現できている。表現意図が伝わる演奏ができている。 c: 自然でのびのある発声法に関心もちち、日本歌曲に興味をもって取り組んでいる。また、演奏家の演奏の違いを積極的に探し、自分にあった演奏を見つけようとしている。	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・練習記録

※令和４年度以降入学生用

		器楽 〈ギター弾き歌い〉 「自由曲」 〈ピアノ独奏〉 「自由曲」 より選択課題	a: ギターやピアノの特徴、楽曲のリズム、フレーズのまとまり、和音や和声などによって生み出される曲想を生かした表現をするために必要な技能を身につけている。 b: ギターやピアノの奏法と表現上のかかわりを理解し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。また、表現できている。 c: ギターやピアノの奏法と表現上のかかわりに関心を持ち、主体的に取り組んでいる。歌唱にも意識を向けて、意欲的に演奏をしようとしている。	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・振り返りシート	・観察 ・練習記録
		合唱 「世界はあなたにわらいかけている」「好きだ。」	a:メロディやリズムを理解し、音の強弱、リズム、休符を正しく理解して演奏できているか。 b:メロディ、リズムの特徴を理解し、音の強弱や音質、強弱、休符（音のない部分）を感じ取って演奏できる。他の声部の動きや関りを感じながら演奏できる。 c:リズム、音の強弱、音のない部分にも興味を持ち、積極的に参加している。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・観察 ・練習記録
		鑑賞 「ミュージカル探究」	a:ミュージカルの特徴、登場人物の役割と声質、音楽の効果などの学習から理解できる。メロディーの流れと聴いている人へ与える効果がわかる。 b: ミュージカルでは物語の内容、登場人物の役割や心情などが声、楽器などにより表現されていること、また演奏者による表現の特徴を理解して、よさや美しさを創造的に味わい、言葉で表している。 c: ミュージカルでは物語の内容、登場人物の役割や心情などが声、楽器などにより表現されていることに関心をもって主体的に鑑賞しようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート	・ワークシート ・振り返りシート	・観察 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	アートスタジアムにむけて①	**アートスタジアムにむけて** 独唱、独奏（個人プログラム・合唱の練習）	a: 楽曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけている。 b: 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解し、表現意図をもって楽曲にふさわしい創造的な工夫をしている。 c: 歌唱、器楽など様々な表現形態の中から、個人で楽曲を選び、アートスタジアムのステージにむけて主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・練習記録	・実技テスト ・練習記録	・観察 ・練習記録
	アートスタジアムに向けて②	**アートスタジアムにむけて** バンド演奏（全員参加プログラムの練習）	a: 楽曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけている。 b: 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解し、表現意図をもって楽曲にふさわしい創造的な工夫をしている。 c: 歌唱、器楽など様々な表現形態の中から、個人で楽曲を選び、アートスタジアムのステージにむけて主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・練習記録	・実技テスト ・練習記録	・観察 ・練習記録
3学期	コンサートを企画しよう	**自由課題による発表** 「ラスト･ステージ」 合唱、アンサンブル、独唱、独奏	a: 楽曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけている。 b: 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果や、音楽を形づくっている要素の働きを理解し、アンサンブルとしての調和を意識して、表現意図をもって楽曲にふさわしい創造的な工夫をしている。 c: 歌唱、器楽など様々な表現形態の中から、グループ、個人で楽曲を選び、また、コンサートの運営も分担し、音楽コースのしめくくりとして主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・練習記録	・実技テスト ・練習記録	・観察 ・練習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用